

アズキの害虫情報 (No 2)

アズキの子実害虫の発生については、8月29日付けの防除所ニュース第2号で情報を発信し、研究普及ブランド課から9月9日付け専門技術員情報第6号でも注意喚起されています。

アズキの防除適期である開花期に、農業総合研究所のアズキほ場の害虫発生状況を調査(9月10日)したところ、アズキノメイガ、マメノメイガ、オオタバコガ及びハスモンヨトウの発生が確認されました(表1)。

調査方法が異なるので、過去の発生状況と単純な比較はできませんが、被害株率(寄生株率)では、アズキノメイガは12%と過去2年間より低いものの、マメノメイガは68%と平成18年に比べて高くなっています。

表1 農業総合研究所内での害虫発生状況

種類	被害数	幼虫数	被害株率(%)
アズキノメイガ	3	1	12
マメノメイガ	26	6	68
オオタバコガ	-	1	4
ハスモンヨトウ	-	3	12

(調査株25株 マメノメイガについては200花(莢)調査)

)被害数: アズキノメイガは、食入された茎数

マメノメイガは、加害された花および莢の数

【参考】農業総合研究所内での過去の同時期のアズキノメイガ、マメノメイガの寄生虫数および寄生株率

年度	種類	幼虫数	寄生株率(%)
19年	アズキノメイガ	35	70
	マメノメイガ	28	100
18年	アズキノメイガ	16	40
	マメノメイガ	9	30

(調査株10株で全花(莢)調査)

子実害虫類の防除については、幼虫ふ化時期～食入開始時期の防除が重要で、開花始めから10日間隔で2～3回防除することが大切です。

従って、今の時期が子実害虫類防除の最終段階です。**再度、花や莢などの加害状況を観察し、発生が多いようであれば、防除を実施しましょう。**